

第4回 福岡市立学校給食運営検討委員会 次第

日 時：平成21年12月10日(木) 14:00～16:00

場 所：福岡市教育センター 3階 303 研修室

◆ 野課長挨拶

※ 第3回振り返り

議題1 平成22年度の学校給食費について P 01～10

議題2 納入組合からの小学校給食物資調達について P 11～29

- (1) 給食の流れ・しくみ (11～12)
- (2) 福岡市学校給食公社登録の物資納入業者数等 (13～14)
- (3) 平成17年度福岡市学校給食公社における検討結果等 (15～27)
- (4) 納入組合からの物資調達の現状等 (28～29)

議題3 その他

- (1) PEN樹脂食器の安全性検証について

○ 次回スケジュール

○ その他

議題1 平成22年度の学校給食費について

福岡市学校給食費改定の基本的な考え方について

1. 本市給食費の主食に関する経費は、小・中学校とも前回の給食費改定（平成12年度）から1食について約10円の上昇が見られている。
2. 主食の上昇にかかる費用は、工夫の余地がほとんどないため副食に充てる割合が減少している。
3. 献立は、福岡市学校給食摂取基準により実施しているところであるが、副食費の減少に伴い、一番摂取しにくい鉄分に影響がでている。

年度	国基準		市基準	鉄分の供給量				
	基準量 H21.3 まで	基準量 H21.4 から	基準量 H21.4 から	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度 ～12月
平均	3.0mg	3.3mg	3.3mg	2.9mg	3.0mg	3.1mg	2.8mg	2.6mg

4. 鉄分は一般の食材料では一部の食品にしか含まれていないため、摂取が難しい栄養素であり、様々な食材料の種類を組み合わせても摂取できにくい栄養素である。

本市においては鉄分を多く含む食品を小分けして使用しているが給食調理室に回転釜3個～5個となっており、献立数に限度があるため、既製品の味付け煮干しやデザート類に鉄分を含ませた加工食品で不足分を補っている。

※ 鉄は成長期における身長・体重などの急激な増加に対応して、その需要は増大する。

成長期における鉄摂取量調査結果から必要量が設定されているが、今年度の摂取基準で、必要量が3.0mgから3.3mgに増加されたが、本市では、摂取量が減少している状況である。

※ 鉄分を多く含む食品・・・レバー、ひじき、大豆、納豆、凍り豆腐、ほうれん草、マグロなど

5. 経費の面からパンに付ける添え物も使用する種類が限られておりパンの食べ残しを増やす原因にもなっている。また、果物類の使用も減少しているが、家庭で果物を摂らない児童生徒に対して、果物類の体験をさせておくことは食育を推進する上でも大切なことである。

※現下の経済情勢等について

- 給食提供においては、以上の様な課題等を認識しているところではあるが、一方経済情勢はいつこうに回復せず、国においては、「日本はデフレ状況にある」との認識が示されるに至っている。
- また、将来的な給食費改定のルールや、あるべき給食費の考え方の整理、更に当面抱えている給食運営に関する各種の課題（パンの持ち帰り、小学校納入組合、ペン食器の安全性検証、喫食率の低いパンへの対応、更なる調達工夫）の整理も残っており、それらの中で、値上げを実施することに理解が得られるかどうかという問題がある。

別表1： 近年の福岡市給食の提供栄養量の推移(小学校)

	エネルギー (kcal)	たんぱく質(g)	脂肪(g)	Na塩分換算(g)	カルシウム(mg)	鉄(mg)	ビタミン				食物繊維(g)
							A(μg RE)	B1(mg)	B2(mg)	C(mg)	
国基準 (～平成20年度)	653	24.3	21.8	3.0 以下	327	3.0	133.0 (IU)	0.33	0.37	22.0	6.3
国基準 (平成21年度～)	663	13.3～27.7	18.4～22.1	2.5 未満	350	3.3	146～440	0.40	0.47	20.0	5.5
市基準 (平成21年度～)	634	13～28	17.6～21.1	2.5 未満	350	3.3	150～440	0.43	0.47	23.0	6.0
平成12年度	648	27.2	22.3	2.3	336	3.1	1565	0.46	0.62	22.0	4.0
平成13年度	640	26.7	21.9	2.2	327	3.0	1515	0.46	0.61	21.0	3.8
平成14年度	656	27.7	23.4	2.3	354	2.6	1885	0.45	0.59	22.0	4.2
平成15年度	651	27.4	23.0	2.3	358	2.9	1901	0.48	0.59	24.0	4.1
平成16年度	645	27.3	22.1	2.3	350	3.0	600	0.47	0.58	22.0	4.2
平成17年度	645	27.0	22.2	2.3	351	2.9	711	0.57	0.65	31.0	4.6
平成18年度	644	26.5	22.2	2.3	344	3.0	683	0.59	0.65	33.0	4.4
平成19年度	646	26.3	22.1	2.2	348	3.1	563	0.60	0.65	32.0	4.6
平成20年度	633	25.4	21.8	2.2	340	2.8	560	0.61	0.66	29.1	4.5
平成21年度 (12月まで)	617	25.0	21.0	2.1	334	2.6	502	0.56	0.62	27.0	4.2

別表2：デザート・その他加工品の使用状況(小学校) (単位：回/年)

年度	果汁・乳飲料	既製食品・デザート等	1食添え物	果物類
H12年度	12	37	89	18
H13年度	11	36	73	17
H18年度	7	37	53	14
H19年度	8	32	67	12
H20年度	7	23	47	6
H21年度(12月まで)	5	23	28	5

福岡市学校給食費(日額内訳)の推移

(単位:円, %)

区分	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
小学校											
月額	3,200	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
一食単価	185.26	202.63	202.63	202.63	202.63	202.63	202.63	202.63	202.63	202.63	202.63
主食(パン・米飯)	49.77	49.46	48.72	48.61	48.61	51.36	51.89	51.42	53.08	54.22	55.14
牛乳	36.85	38.92	38.86	38.73	38.68	38.99	39.52	39.97	40.46	40.94	44.09
おかず	98.64	114.25	115.05	115.29	115.34	112.28	111.22	111.24	109.09	107.47	103.40
(割合)	53.2%	56.4%	56.8%	56.9%	56.9%	55.4%	54.9%	54.9%	53.8%	53.0%	51.0%
中学校											
月額	3,800	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200
一食単価	220.00	243.15	243.15	243.15	243.15	243.15	243.15	243.15	243.15	243.15	243.15
主食(パン・米飯)	57.83	56.43	55.50	55.83	55.96	79.81	61.31	59.81	63.15	63.98	65.17
牛乳	41.85	44.43	44.48	43.83	43.96	44.20	44.87	45.56	45.83	46.73	45.95
おかず	120.32	142.29	143.17	143.49	143.23	119.14	136.97	137.78	134.17	132.44	132.03
(割合)	54.7%	58.5%	58.9%	59.0%	58.9%	49.0%	56.3%	56.7%	55.2%	54.5%	54.3%

小学校【平成12年度献立における給食費比較】

※H12nd献立をH12ndとH21nd価格で比較(単位:円)

月	平成12年度			平成20年度			平成21年度			上昇率 (%)
	給食 回数	月 額	1食単価	月 額	1食単価	1食単価 差額	月 額	1食単価	1食単価 差額	
4月	15	3,123.80	208.25	3,262.61	217.51	9.26	3,158.95	210.60	2.35	1.1
5月	20	3,960.38	198.02	4,391.18	219.56	21.54	4,371.72	218.59	20.57	10.4
6月	22	4,280.59	194.57	4,799.77	218.17	23.60	4,561.74	207.35	12.78	6.6
7月	11	2,150.97	195.54	2,336.42	212.40	16.86	2,349.28	213.57	18.03	9.2
9月	19	3,730.37	196.34	4,106.93	216.15	19.81	4,155.88	218.73	22.39	11.4
10月	21	4,344.64	206.89	4,820.99	229.57	22.68	4,710.72	224.32	17.43	8.4
11月	20	4,188.95	209.45	4,610.02	230.50	21.05				
12月	14	3,023.67	215.98	3,265.29	233.24	17.26				
1月	16	3,457.37	216.09	3,611.15	225.70	9.61				
2月	19	4,024.10	211.79	4,318.42	227.29	15.50				
3月	13	2,634.44	202.65	2,909.17	223.78	21.13				
計・平均	190	38,919.28	204.84	42,431.95	223.33	18.49	23,308.29	215.55	10.71	
				4~10月上昇率				4~10月上昇率		8.0

21年度 23,308.29
20年度 23,717.90
12年度 21,590.75

中学校【平成12年度献立における給食費比較】

月	平成12年度			平成20年度			平成21年度			上昇率 (%)
	給食 回数	月 額	1食単価	月 額	1食単価	1食単価 差額	月 額	1食単価	1食単価 差額	
4月	15	3,459.33	230.62	3,921.22	261.41	30.8	3,833.18	255.55	24.92	10.8
5月	21	4,724.10	224.96	5,340.28	254.30	29.3	5,358.78	255.18	30.22	13.4
6月	21	4,767.60	227.03	5,404.04	257.34	30.3	5,383.15	256.34	29.31	12.9
7月	12	2,740.28	228.36	3,139.05	261.59	33.2	3,129.04	260.75	32.39	14.2
9月	21	5,335.50	254.07	5,685.06	270.72	16.6	5,833.02	277.76	23.69	9.3
10月	21	5,171.48	246.26	5,536.16	263.63	17.4	5,531.61	263.41	17.15	7.0
11月	18	4,265.66	236.98	4,669.05	259.39	22.4				
12月	14	3,523.73	251.70	3,945.39	281.81	30.1				
1月	16	4,252.73	265.80	4,944.34	309.02	43.2				
2月	19	4,204.01	221.26	4,716.85	248.26	27.0				
3月	13	3,150.57	242.35	3,332.74	256.36	14.0				
計・平均	190	45,594.99	239.97	50,634.18	266.50	26.5	29,068.78	269.16		
				4~10月上昇率				4~10月上昇率		11.0

21年度 29,068.78
20年度 29,025.81
12年度 26,198.29

政令市学校給食費の状況(平成21年4月)

(単位:円)

都市名	小学校		中学校		改定年月日	備 考
	基礎月額	一食単価	基礎月額	一食単価		
札幌市	3,650	221.56 225.41 229.23	4,400	275.77	H21.4	改定歴 平成20年4月,平成15年4月 今回上げ幅 小学校～日額 8.40円増 中学校～日額 9.72円増
仙台市	4,000	225.00	4,400 ～4,600	268.00	H11.4	
さいたま市	3,800	232.22	4,500	286.00	H14.4	
千葉市	3,900 4,200	248.00 266.00	4,500	282.00	H10.4	
川崎市	3,650 3,850 4,050	220.00 230.00 240.00	ミルク給食		H21.4	前回改定平成10年4月 今回上げ幅 小学校～日額20.00円増
横浜市	4,000	235.29	-	-	H21.1	前回改定 平成10年11月 上げ幅 月額300円, 日額14.09円
新潟市	4,573	266.15	5,522	326.59	H21.4	毎年改定 平成21年度は前年並み
静岡市	4,075	249.00	4,730	289.00	H21.4	前回改定平成18年4月 今回上げ幅 小学校～日額18.00円 中学校～日額14.00円
浜松市	4,294	253.00	5,230	305.00	H21.4	前回改定平成17年4月 今回上げ幅 小学校～日額14.00円 中学校～日額20.00円
名古屋市	3,800	229.67	4,300	276.61	H21.4	前回改定平成12年1月 今回上げ幅 小学校～日額20.43円 中学校～日額22.27円
京都市	4,300	240.10	5,200	290.35	H21.4	前回改定平成18年4月 今回上げ幅 小学校～日額16.75円 中学校～日額30.35円
大阪市	3,553 3,604 3,655	209.00 212.00 215.00	-	-	H21.4	前回改定平成16年4月 今回上げ幅 小学校～日額 7.30円増
堺市	3,400 3,485 3,570	200.00 205.00 210.00	-	-	H17.4	
神戸市	3,900	233.00	-	-	H19.4	前回改定平成12年4月 H19上げ幅 小学校～日額17.78円増
岡山市	各校設定	241.00 241.00 241.00	各校設定	289.00	H20.4	
広島市		220.00		265.00	H20.11	前回改定平成10年4月 H20.11上げ幅 小学校～日額20.00円増 中学校～日額25.00円増
北九州市	3,500	208.00	4,500	260.00	小学校H12.4 中学校H21.4 (新設)	※中学校は、平成21年4月完全給食開始
福岡市	3,500	202.63	4,200	243.15	H12.4	

小学校 政令指定都市の主食・牛乳・おかずの割合

都市名	単価内訳表					割合				
	1食単価	パン・米飯	牛乳	おかず等	その他	パン・米飯	牛乳	おかず等	その他	
札幌市	225.41	54.09	39.06	132.26		24.00	17.33	58.68		100.00
仙台市	225.00	61.66	43.43	119.91		27.40	19.30	53.29		100.00
さいたま市	232.22	46.84	42.02	143.36		20.17	18.09	61.73		100.00
千葉市	257.00	54.43	45.15	157.42		21.18	17.57	61.25		100.00
川崎市	230.00	39.00	44.25	146.75		16.96	19.24	63.80		100.00
横浜市	235.29	52.79	44.00	138.50		22.44	18.70	58.86		100.00
新潟市	266.15	55.93	44.98	164.68	0.56	21.01	16.90	61.87	0.21	100.00
静岡市	249.00	65.83	43.21	139.96		26.44	17.35	56.21		100.00
浜松市	253.00	49.59	45.37	158.04		19.60	17.93	62.47		100.00
名古屋市	229.67	50.12	45.51	134.04		21.82	19.82	58.36		100.00
京都市	240.10	47.59	19.82		
大阪市	212.00	45.98	50.01	116.01		21.69	23.59	54.72		100.00
堺市	205.00	45.34	49.97	104.74	4.95	22.12	24.38	51.09	2.41	100.00
神戸市	233.00	50.50	46.90	123.44	12.16	21.67	20.13	52.98	5.22	100.00
岡山市	241.00	56.89	44.39	139.72		23.61	18.42	57.98		100.00
広島市	220.00	58.00	43.00	119.00		26.36	19.55	54.09		100.00
北九州市	208.00	58.00	44.00	106.00		27.88	21.15	50.96		100.00
福岡市	202.63	55.14	44.09	103.40		27.21	21.76	51.03		100.00

中学校 政令指定都市の主食・牛乳・おかずの割合

都市名	単価内訳表					割合				
	1食単価	パン・米飯	牛乳	おかず等	その他	パン・米飯	牛乳	おかず等	その他	
札幌市	275.77	63.53	39.06	173.18		23.04	14.16	62.80		100.00
仙台市	268.00	70.10	43.43	154.47		26.16	16.21	57.64		100.00
さいたま市	286.00	55.85	42.02	188.13		19.53	14.69	65.78		100.00
千葉市	282.00	66.94	45.15	169.91		23.74	16.01	60.25		100.00
新潟市	326.59	65.78	44.98	215.19	0.64	20.14	13.77	65.89	0.20	100.00
静岡市	289.00	80.88	43.21	164.91		27.99	14.95	57.06		100.00
浜松市	305.00	60.88	45.37	198.75		19.96	14.88	65.16		100.00
名古屋市	276.61	45.51	16.45		
京都市	290.35	47.59	16.39		
岡山市	289.00	67.01	44.39	177.60		23.19	15.36	61.45		100.00
広島市	265.00	68.00	43.00	154.00		25.66	16.23	58.11		100.00
北九州市	260.00	68.00	44.00	148.00		26.15	16.92	56.92		100.00
福岡市	243.15	65.17	45.95	132.03		26.80	18.90	54.30		100.00

平成20年度給食費検討委員会(議事録要旨)

1. 平成20年度給食費検討委員会要綱…別紙1

2. 平成20年度給食費検討委員名簿…別紙2

3. 開催日

第1回(11月25日)

- ①福岡市立学校給食費に関する検討の必要性等
- ②現状と問題点の整理

第2回(12月10日)

- ①給食費の改定について

第3回(12月25日)

- ①福岡市立学校給食費の改定の考え方について

4. 議事録要旨

(1) 値上げ額について

- 小学校は米飯が高いが中学校はパンが高い。安い方にウェイトをもっていけば額が抑えられるのではないか。
- 物価の上昇に応じて値上げすることが望ましいのではないか。そういう仕組みをつくるのも一つの方法ではないか。
- 事務局案で比較すると450円上がるのと250円上がる案を見て、250円が良いと思った。250円で現状よりも良くなるのであれば250円の方が良い。
- 物価上昇を反映した額を打ち出した方がいいのではないか。
- いきなり450円も上がると心情的に厳しい。300円程度ならしょうがないと思える。
- 一気に4000円に近くなってしまうとすごく上がったような印象を受ける。
- 値上げは出来る限り低い方が助かる。
- 無理に値上げ額を抑えるのではなく、僅かな差であれば子供に楽しみが出来るようにしてほしい。
- 値上げ額は300円が妥当ではないか。
- 300円の値上げ額だと19年度くらいの状態に戻せる。
- 現在の価格から300円の値上げは随分抑えた額なのではないかと思う。

(2) 食育について

- 給食費が厳しくなってくると米飯給食の回数を増やしたり、日本型食生活を推進する食育活動への支障となる。
- 給食は大切な教材の一つなので食育の観点から食材の選択が厳しくなるのは望ましくない。
- 食育を推進する上で、給食を教材として活用するためには献立内容を充実させ、楽しみに考えてもらうことが必要と考える。
- 行事食・季節食が減ってきているので、魅力ある献立を提供して欲しい。

(3) 栄養量について

- 文科省の基準が変更され、基準が大きく伸びている。工夫だけでどうにかなるものではない。
- 値上げが実施されなければ栄養量が充足できない献立しか作れなくなる。
- この価格で児童の栄養が十分保てるのかということで考えるべきである。

(4) 対応策について

- 弁当の日を作るなどして給食回数をみなおしてよいのではないか。
- 弁当の日があれば、親も子供も食べるということに興味を持ってくれるのではないか。
- 実施可能日を減らすのではなく、給食の実施日を減らして値上げを抑えられるのなら説得力のあるものではないか。
- 遠足のときの特別食で実際に持って行っている学校は少ない。家に持って帰らせている。そういう分を減らしても良いのではないか。
- 弁当の日を設ける、給食回数を見るとあるが、共働きという家庭もあるし、学校給食本来の意味もある。価格を抑えることだけでなく、学校給食の本来の意味も一緒に考えていくべきである。

(5) 給食内容等について

- 子供のために安全・安心かつ栄養価の高い給食は重要である。
- 共働きの方も多いので給食が多い方が安心する。
- 物価が上がっているのに給食費が上がらないことに対して、内容が落ちているのではと思う方もいるはず。
- このまま給食費の据え置きを続けると、子供が食べるということにモチベーションを保てなくなるのではないか。
- 給食費が上がらないかわりにデザート等が減ると言ったら保護者が騒然となった。保護者は子供の気持ちを理解しているから児童だけでなく保護者からも反発がくるのではないか。

(6) 値上げするにあたっての意見等

- 栄養士や調理業務員の努力や取り組みを知ってもらえば値上げについて反対する人はいないのではないか。
- 給食費を未納する人がいる中で給食費が上がることについて不公平感を感じる方もいるのではないか。
- 栄養基準が変更されたことで、現状のままでは栄養基準が満たせなくなるのではないか。食の安全・安心の面でもこの基準を満たすためには値上げをした方が良い。
- 給食費を上げるならタイミングは今だと思ふ。
- 北九州市が上げない状況で福岡市が給食費を上げるのか。
- 過去の改定から見て、年々1食あたりの副食の構成比が減っていく傾向がある。前回の平成12年度の改定後の副食の構成比に比べると抑えているが、副食の構成比が減っていくことを考えるとこの額の改定で耐えられるのか。
- 値上げをするという案が議会で通ると良いと思ふ。

(7) その他

- 給食費を値上げするならば、物価の上下で金額を変更するのは良くないのではないか。一度改定したなら数年は続けるべきである。
- 物価の上昇を反映すると、給食費が上がったり下がったりするので保護者が不安に思ふのではないか。

(8) 報告

- 本日の意見を教育委員会事務局に報告して方向性の案をまとめ、その後教育委員会並びに議会の意見を伺いながら、給食費の額の決定をしていきたい。なお、現在、雇用状況・経済状況等が厳しさを増している状況にあり、決定にあたっては総合的な判断が求められると考えている。

福岡市学校給食費改定の推移

(単位:円, %)

区 分		S46.4-48.3	S48.4-49.9	S49.10-52.3	S52.4-56.5	S56.6-60.3	S60.4-H3.3	H3.4-12.3	H12.4-
小学校	月額	950	1,300	1,700	2,300	2,700	2,900	3,200	3,500
	引上額		350	400	600	400	200	300	300
	引上率		36.8%	30.8%	35.3%	17.4%	7.4%	10.3%	9.4%
	一食単価	55.00	75.26	98.42	133.16	156.32	167.89	185.26	202.63
中学校	月額		1,700	2,200	2,700	3,200	3,450	3,800	4,200
	引上額			500	500	500	250	350	400
	引上率			29.4%	22.7%	18.5%	7.8%	10.1%	10.5%
	一食単価		98.42	127.30	156.32	185.26	199.74	220.00	243.15

福岡市立学校給食費の改定の考え方について

2008. 12.25

改定時期 (改正手続き)	学校区分	給食目標
設置者負担	保護者負担	食材料費に 影響を及ぼす 主な制度的要因
基本的な社会経済情勢		
改定の主な理由(必要性等)		
学校区分	改定年→前年 前年→検討年 小計 検討年→改定年 合計	国庫補助削減 影響額
給食回数の見直し 献立上の工夫等		
回数	月額	1食単価
1食単価	給食回数	納付回数
改定後	改定前	差引
差引	引上率	

【平成12年4月改定】 ◎平成3年～11年:9年経過→10年目改定 (学校給食管理規程に基づき教委にて決定→関係部門へ説明)			
小学校 (特別支援学校小学部含む)	中学校 (特別支援学校中学部・高等部含む)	【学校給食法第2条】	
① 日常食事への正しい理解と望ましい習慣を養う ② 学校生活を豊かにし、明るい社交性を養う ③ 食生活の合理化・栄養改善・健康増進を図る ④ 食糧の生産・配分・消費への正しい理解に導く			
・施設・設備経費 ・施設・設備に要する修繕費 ・給食従事職員人件費		・食材料費 ・光熱水費 ・その他の経費	
・光熱水費 ・その他の経費		・食材料費相当額	
・平成9年:3%→5%(消費税1%+地方消費税1%)			
・目標:週3回とし、回数拡大を図ってきた(小:2.0回・中:2.5回→3回未満のため補助H10廃止(2年繰上))			
・平成2年のバブル経済崩壊から立ち直りかけた矢先の平成9年に消費税改定実施 ・景気回復の腰折れ状況の経済情勢 ・臨時行政調査会等による国家歳出予算の見直し→給食材料費への補助削減			
※消費税影響等からの食材料物価上昇+国庫補助削減→改定回避不能(基準栄養量・標準食品群摂取)			
小学校 (特別支援学校小学部含む)	中学校 (特別支援学校中学部・高等部含む)		
主食	牛乳	副食	食材料物価 月額
		※推計→	5.70%
		※推計→	0.10%
		※推計→	5.81%
		※推計→	0.10%
		※推計→	5.91%
▲6.36円	▲0.03円	→→	3.45%
			9.36%
			189.12円
▲12.12円	▲0.035円	→→	5.53%
			11.44%
			224.58円
			209.95円
			434.53円
190回	【増減ナシ】→190回		190回
3,200円	【+300】→3,500円		3,800円
185.26円	【+17.37】→202.63円		220.00円
	【9.37%】		【10.52%】
1食単価	給食回数	年額	納付回数
202.63	×190回	38,500	÷11回
185.26	×190回	35,200	÷11回
17.37		3,300	⇒300
9.37%		9.37%	10.52%
増加算定月額→ 299.49円 (百円単位四捨五入) 増加算定月額→ 434.53円			

【平成21年4月改定(案)】 ◎平成12年～20年:9年経過→10年目改定 (給食費検討委員会において引上案調製→予算案化→市議会審議・決定)			
小学校 (特別支援学校小学部含む)	中学校 (特別支援学校中学部・高等部含む)	【改正学校給食法第2条:平成21年4月1日施行】	
① 適切な栄養摂取による健康増進を図る ② 日常食事への正しい理解と健全食生活への判断力・望ましい習慣を養う ③ 学校生活を豊かにし、明るい社交性・協同の精神を養う ④ 自然の恩恵への理解・生命自然尊重精神・環境保全寄与態度を養う ⑤ 人々の様々な活動への理解・勤労を重んじる態度を養う ⑥ 我が国・各地域の伝統的食文化への理解を深める ⑦ 食料の生産・流通・消費への正しい理解に導く			
左同		左同	
左同		左同	
左同		左同	
左同		左同	
左同		左同	
左同		左同	
・平成18年度中途から、中国産の冷凍野菜は使用しないこととした ・平成18年度から、「市内産農産物学校給食活用協議会」を設置し地産・地消の推進を図っている ・目標:週4回とし、回数拡大を図っていく(当面21年から小:2.5回→3.0回化) ・長期に及ぶ景気回復実感の乏しい経済成長過程 ・世界的投機余剰資金の石油や穀物類への過剰投資による小麦価格や油脂類の急騰 ・米国金融破綻に伴う世界的同時不況の様相 ・日本国内における食品偽装や外国産食材の農薬等汚染事件の続発 ・一般家庭の食費負担の増加			
※小麦・油脂類等の給食物資価格急騰+パン・牛乳価格改定予定→改定回避不能(前回+食育推進)			
小学校 (特別支援学校小学部含む)	中学校 (特別支援学校中学部・高等部含む)		
主食	牛乳	副食	食材料物価 月額
		※推計→	5.70%
		※推計→	0.10%
		※推計→	5.81%
		※推計→	0.10%
		※推計→	5.91%
▲6.36円	▲0.03円	→→	3.45%
			9.36%
			189.12円
▲12.12円	▲0.035円	→→	5.53%
			11.44%
			224.58円
			209.95円
			434.53円
190回	【増減ナシ】→190回		190回
3,500円	【+300】→3,800円		4,200円
202.63円	【+17.37】→220.00円		243.15円
	【9.37%】		【10.52%】
1食単価	給食回数	年額	納付回数
220.00	×190回	41,800	÷11回
202.63	×190回	38,500	÷11回
17.37		3,300	⇒300
8.57%		8.57%	10.52%
増加算定月額→ 274.19円 (百円単位四捨五入) 増加算定月額→ 445.45円			

① 政令市・都市圏とも大半が百円単位の月額としていること
 ② 小学校に米飯給食の拡大を行うこと
 ③ 現下の経済情勢に鑑み、経済的負担がより大きい中学校については、今回は特に引上幅の抑制が必要と考えられること
 以上の事情等を総合的に勘案し、小・中ともに300円の引上げとする。